

論点等説明シート

事業名	医療情報セキュリティ等対策経費				
予算の状況 (単位:百万円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	補正後予算額 (前年度からの繰越等を含む)	51	3,699	5,001	2,506
	執行額	40	96	2,300	
	執行率	78%	3%	46%	

事業についての論点等

(事業の概要)

・医療分野におけるサイバーセキュリティ対策調査事業

医療機関のセキュリティ対策は、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に基づき、各医療機関が自主的に取組を進めてきているところである。昨今、国内の医療機関を標的としたランサムウェアによるサイバー攻撃被害が増加(ランサムウェアにより、長期にわたり診療が停止した複数の事例が発生)したことから、医療機関のサイバーセキュリティ対策の徹底を図る。

・医療機関におけるサイバーセキュリティ確保事業

医療機関におけるサイバーセキュリティの更なる確保のため、外部ネットワークとの接続の安全性の検証・検査や、オフライン・バックアップ体制の整備等を実施する。

(論点)

・サイバーセキュリティインシデントが増加している昨今の事情を踏まえ、医療機関のサイバーセキュリティ対策をより一層充実していくための効果の検証及び成果をより適切に評価することができるアウトカム(※)を検討する必要があるのではないか。

(※) 現行のアウトカム

(医療分野におけるサイバーセキュリティ対策調査事業)

医療機関向けにサイバーセキュリティ対策を徹底するための研修を行い、前年と同水準の研修受講者を確保する。

(医療機関におけるサイバーセキュリティ確保事業)

実際に防止したサイバー攻撃の件数を把握することは困難であるため、定量的なアウトカムを設定できていない。

【参考】令和6年度行政事業レビューシートより

長期アウトカム	成果目標	前年の医療機関向けサイバーセキュリティ研修と同水準の受講者を確保する。	成果指標	研修受講者数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業最終報告書	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	アウトカムについては、医療機関で実際に発生したインシデントや、医療情報システムの安全管理に関するガイドラインの浸透度なども考えられるが、これらは段階的に効果が発現するものではないため、今後の検討としたい。	
活動・成果目標と実績		2021年度	2022年度	2023年度	最終目標年度 2024年度
	当初見込み/目標値(人)	700	697	4,095	9,005
	活動実績/成果実績(人)	697	4,095	9,005	--
	達成率(%)	99.6	587.5	219.9	--
長期アウトカム	成果目標	ネットワーク構成の見える化による、医療機関におけるサイバーセキュリティ対策の充実	成果指標	-	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	事業は、ネットワーク構成の見える化により、各医療機関でのサイバーセキュリティ対策に活かしていただくことを目的としているが、実際に防止したサイバー攻撃の件数を把握することは困難であるため、定量的なアウトカムを設定することは困難である。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	効果の発現は、ネットワーク構成の見える化を行い、各医療機関においてサイバーセキュリティ対策に活かされるものため、段階的なアウトカム設定が困難である。	

注) 令和5年度の執行率については、令和5年度補正予算で措置した3,597百万円を令和6年度に繰り越して執行しているため、対令和5年度当初予算の執行率は94%となっている。

また、令和6年度の執行率については、令和6年度補正予算で措置した1,303百万円を令和7年度に繰り越して執行しているため、令和6年度当初予算と前年度からの繰越し分の執行率は62%となっている。